

学校安全担当教員の役割と業務内容（小学校：例）

学校安全担当教員・・・管理職のリーダーシップの下、学校安全の中核として、地域や関係機関等と連携を図りながら、学校の安全教育及び安全管理を牽引する役割を担う教員。高知県では、学校安全担当教員を各学校の校務分掌に位置付け、この教員を中心に組織的な学校安全の取組を推進することとしている。

月	学校行事など	避難訓練など	学校安全担当の業務例
4月	組織職員会 入学式・始業式	避難訓練 (地震・津波) 交通安全教室	<ul style="list-style-type: none"> ○組織職員会で、危機管理マニュアル、安全教育全体計画及び学校安全計画を確認・共有。高知県安全教育プログラムや副読本等の活用を提案 ○始業式までに、AED やエピペンの設置場所・使用法についての確認 ○避難訓練（地震・津波）における津波避難場所等の確認、訓練の実施及び振り返り ○警察や交通安全協会等と連携した交通安全指導の実施と、事前・事後指導（低学年・・・歩き方「止まる・見る・確かめる」、高学年・・・自転車の乗り方）の提案
5月	運動会		<ul style="list-style-type: none"> ○体育主任と連携し、運動会種目に防災の視点を入れた種目を取り入れることを提案
6月	プール開き	不審者対応訓練 救命救急講習 (AED 含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○不審者対応訓練の実施及び振り返り ○消防署と連携した救命救急講習の計画 ○水泳の学習を前に、プール使用における安全についての確認
7月	終業式・夏休み		<ul style="list-style-type: none"> ○学期末懇談会で『「171伝言ダイヤル」や「家族防災会議」の夏休み中の実施』を依頼することを、提案 ○夏休みを前に、不審者対応や水難事故防止に関する安全教育を提案 終業式後に、全校児童に指導
8月 ※大正12年9月1日「関東大震災」が発生	夏休み	「高知県南海トラフ地震対策推進週間（8月30日から1週間）」	<ul style="list-style-type: none"> ○県主催の防災教育研修会や学校安全教室推進講習会への参加。各所属校での伝達講習及び研修内容を活用した取組を提案 ○3学期の学習発表会で、中・高学年のいずれかの学年が「地域安全マップ」等の学習について発表することを提案 等

			○「南海トラフ地震に備えよう！」啓発ポスター・標語コンクールへの出品を提案
9月	始業式	シェイクアウト訓練	○シェイクアウト訓練の実施及び振り返り。 ○全校集会などで、関東大震災を取り上げた指導を行う
10月	修学旅行		○(修学旅行訪問先に関西方面が含まれる場合)事後の防災学習を全校集会等で下級生に伝える場を設定する
11月	音楽会	「県内一斉避難訓練」「地域のみんなで自主防災訓練」	○地域の避難訓練への参加の呼びかけ ○学年 PTA 行事と兼ね合わせた「防災キャンプ」を、担任と連携して計画・実施
12月 ※昭和 21 年 12 月 21 日「昭和南海地震」が発生	終業式・冬休み	総合的な学習の時間「昭和南海地震について、地域のお年寄りへの聞き取り学習」	○全校集会などで、昭和南海地震を取り上げた指導を行う ○冬休みを前に、不審者対応や火災防止に関する安全教育を提案 終業式後に、全校児童に指導
1月 ※平成 7 年 1 月 17 日「阪神・淡路大震災」が発生	始業式	避難訓練 (地震・火災)	○1月17日当日(まで)に、阪神・淡路大震災に関わる防災教育(全校指導や各学級での指導)を提案 ○全校集会などで、阪神・淡路大震災を取り上げた指導を行う
2月	学習発表会		○学習発表会での「地域安全安全マップ」等の発表から学んだことを、各学年で共有。 ○危機管理マニュアルの見直し作業 ○安全教育全体計画、学校安全計画の見直し作業(児童が身に付けた安全に関する資質・能力を評価・検証し、計画を改善)
3月 ※平成 23 年 3 月 11 日「東日本大震災」が発生	修了式・春休み		○3月11日当日(まで)に、東日本大震災に関わる防災学習(全校指導や各学級での指導)を提案 ○全校集会などで、東日本大震災を取り上げた指導を行う ○春休みを前に、不審者対応や交通安全に関する安全教育を提案 終業式後に、全校児童に指導

※参考・・・防災教育副読本「命を守る 防災 BOOK (小学生用)」P8,9